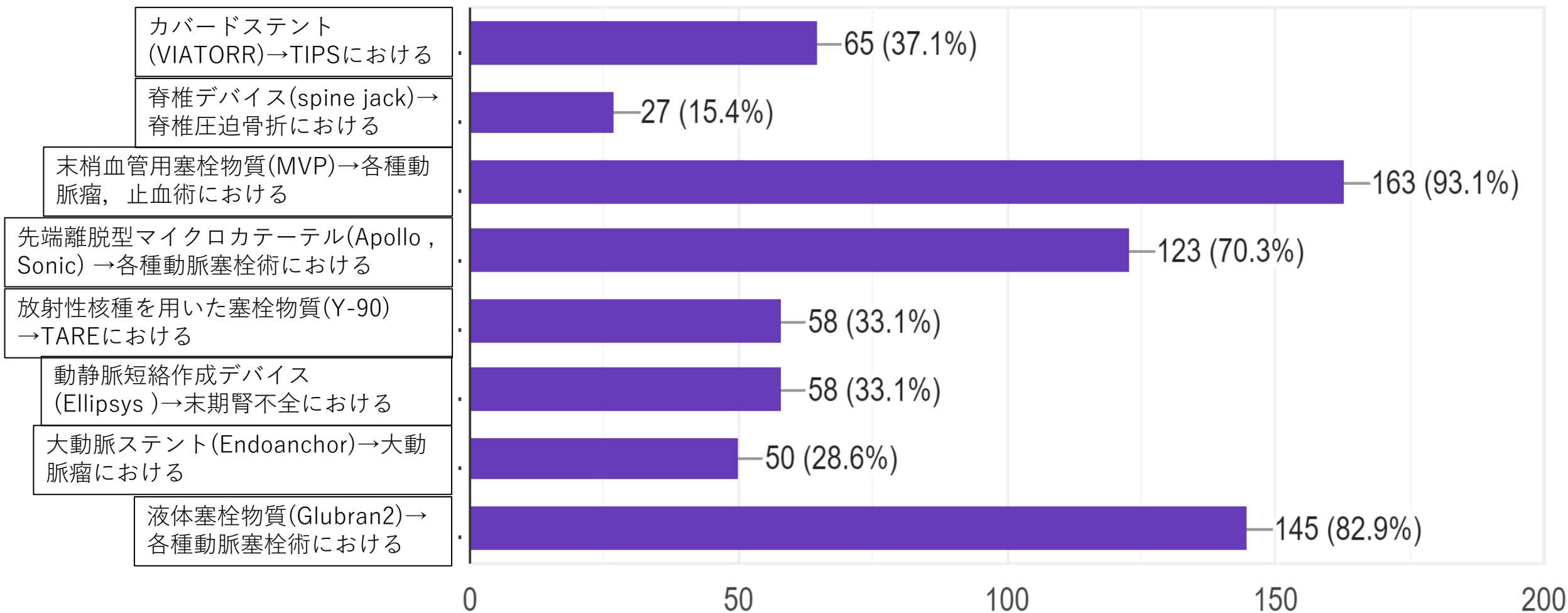


薬事委員会/健保委員会
合同アンケート調査結果

概要

- データ収集期間：2022/8/31～2022/9/21
- 回答数：182件(うち1件同一者の重複回答あったため1件削除)

問1(問1) 次のデバイスの中で、薬事承認の新規取得、あるいは別機序の適応拡大がなされた場合、実際に使用すると思われるものにすべてチェックを入れてください。



(問2) 上記以外に薬事承認の新規取得、あるいは別機序の適応拡大を希望するデバイスがあれば記載してください。

- 4票獲得
 - ポリドカノール→嚢胞アブレーション(胃静脈瘤, 血管奇形)
- 3票獲得
 - Imipenem / Cilastatin→動脈塞栓術
- 2票獲得
 - エタノール→血管内投与
 - (オルダミン→血管内投与)
 - (オニキス)
 - (ステント→門脈)
 - (ジェルパート→肝動脈以外の動脈)

(問2) 上記以外に薬事承認の新規取得、あるいは別機序の適応拡大を希望するデバイスがあれば記載してください。

- 1票のみ

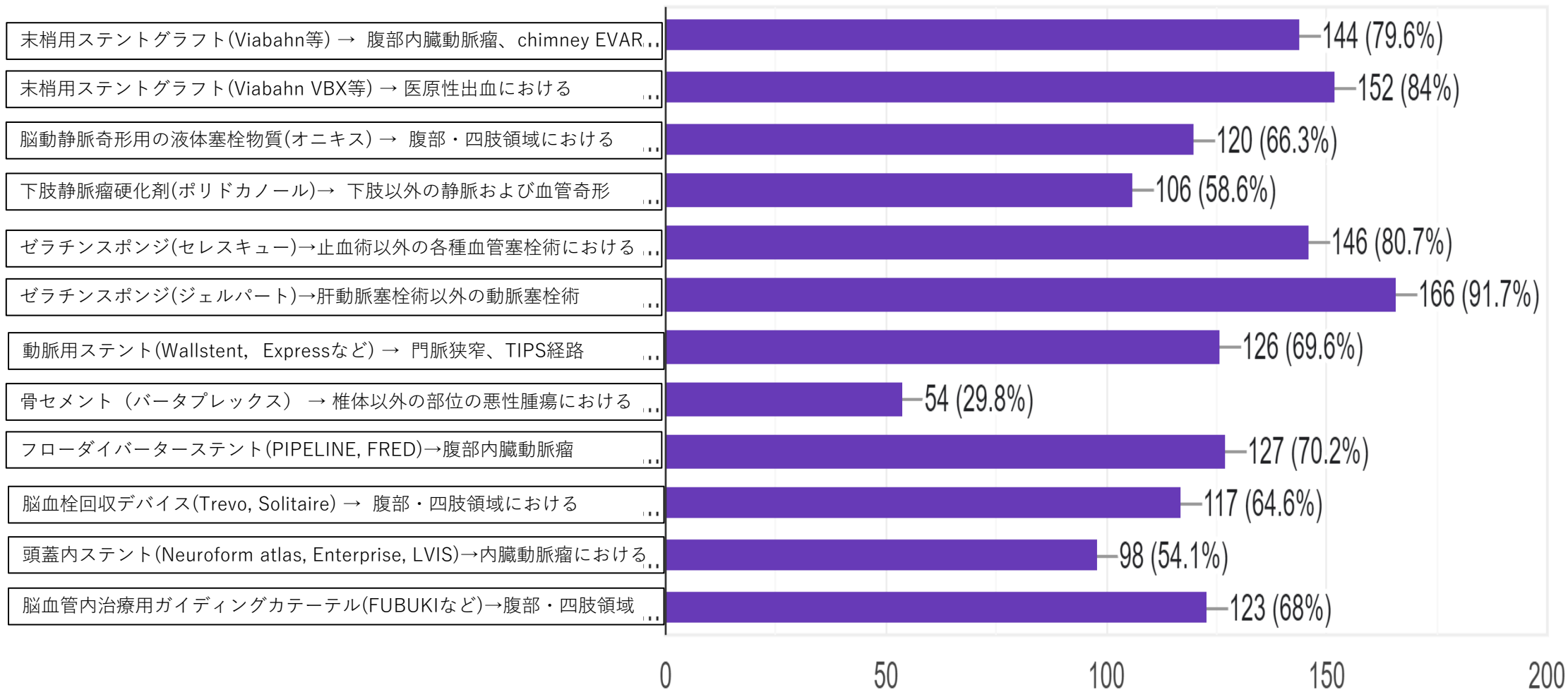
- 血栓溶解剤
- マイクロ波
- Viabahn, Viabahn VBX, LIFESTREAMカバードステント), Be-Graft
- リピオドール→マーキング用
- 頭蓋内ステント
- 胸部分枝型ステントグラフト
- ステアリングシース
- VICI VENOUS STENT, VENOVO Venous Stent System, Zilver Vena Venous Self-Expanding Stent
- WRAPSODY

(問2) 上記以外に薬事承認の新規取得、あるいは別機序の適応拡大を希望するデバイスがあれば記載してください。

- 1票のみ

- アルゴンガス
- 金属コイル →放射線治療用マーカー
- フローダイバーターステント
- 瘻孔閉鎖デバイス
- 経頸静脈肝生検針
- 異物除去カテーテル →各種ランデブー法
- Visual-ICE
- 血栓吸引デバイス(Indigo)
- MicroMagic
- ブレオマイシン →血管奇形

(問3) 次の薬事承認されているデバイスについて，同一機序の適応拡大がなされた場合に，手技施行時には使用する可能性が高いと考えるデバイスについてすべてチェックを付けてください。



(問4) 上記以外に同一機序の適応拡大を希望するデバイスがあれば記載してください(ない場合は無記入で次の質問にお進みください).

- 4票獲得

- 各種ガイディングカテーテル→適用外部位での使用
- Viabahn・VBX→fene/branch TEVAR/EVARでのbridging stentgraft, 腸骨動脈瘤, 門脈での使用

- 3票獲得

- Visual-ICE→腎癌以外の腫瘍

- 2票獲得

- 胆管ステント→動脈, 静脈, 門脈
- 静脈ステント→静脈良性狭窄
- 動脈ステント→静脈

(問4) 上記以外に同一機序の適応拡大を希望するデバイスがあれば記載してください(ない場合は無記入で次の質問にお進みください).

• 1票のみの意見

- Aortic cuff → 腸骨動脈への適応拡大
- GORE IBE → 腸骨動脈のみへの適応拡大
- 脳血管内治療用ディスタルアクセスシステム → 腹部・四肢領域における
- MPバルーンカテーテル → 分娩時出血予防目的の内腸骨動脈バルーン閉塞術への適応拡大
- 脳血栓回収デバイス (Trevo, Solitaire) → 末期腎不全における
- 血管拡張用バルーンカテーテル → 腹部内臓動脈狭窄など
- マイクロバルーン(セプターC, トランスフォーム) → 腹部領域の動脈瘤治療
- ポリドカノール → BRTO, 各種嚢胞病変
- 金属コイル → 血管外使用
- Angio-seal, マンモトーム生検針, アジリス, Woven EndoBridge

(問5) 以下の手技において、次回以降診療報酬改定の新規要望申請を行いたい手技を1つ選んでください。

(問5) 以下の手技において、次回以降診療報酬...要望申請を行いたい手技を1つ選んでください。
167 件の回答



(問6) 上記以外に今後診療報酬改定の新規要望申請を行いたい手技があれば記載してください。ただし、薬事承認済みの新規手技に限ります。

- 4票獲得
 - 門脈形成術

- 2票獲得
 - TAME
 - 血管奇形に対する硬化療法
 - CTガイド下マーキング(VATS)
 - 腹部大動脈ステント留置前の動脈塞栓術

(問6) 上記以外に今後診療報酬改定の新規要望申請を行いたい手技があれば記載してください。ただし、薬事承認済みの新規手技に限ります。

• 1票のみ

- 転移性肝がんに対するリピオドール動注療法併用ラジオ波焼灼術
 - 静脈狭窄に対するステント留置術
 - 転移性骨腫瘍に対するラジオ波焼灼術と骨セメント注入術の併用療法
 - RIBS 術中開窓による企業性ステントグラフトでの分枝再建
 - 手術もしくは腫瘍焼灼術前の塞栓術
 - 大腿動脈の血栓内膜摘除術 + 血管内治療のhybrid治療
 - 頭頸部癌に対する動注化学療法RADPLAT
 - イミペネム塞栓術 下肢難治性皮膚潰瘍に対する治療法として
-
- 問5の“一つ選ぶ”が納得いかなくて問6に入れた人複数あり

(問7) 診療報酬改定の際に現在の点数が不当に低いので改定してほしい手技があれば記載してください。

- 12票獲得

- CTガイド下生検

- 放射線カテーテル専門医が行うことによる増点が欲しい
 - フュージョンイメージ加算が欲しい

- 11票獲得

- 凍結療法

- 針の償還をしてほしい
 - 3本針を使うと赤字になる

- 選択的動脈化学塞栓術

(問7) 診療報酬改定の際に現在の点数が不当に低いので改定してほしい手技があれば記載してください。

- 6票獲得

- ラジオ波焼灼術

- 肺RFA 3cmで分けられるのは納得いかない
 - 外科手技と同等の点数にしてほしい

- 5票獲得

- 動注療法/動注化学療法
 - 各種画像ガイド下生検

- 4票獲得

- CTガイド下ドレナージ術

- 後腹膜膿瘍のCTガイド下ドレナージについて、K 6 3 8 骨盤腹膜外膿瘍切開排膿術(3,290点)で算定するように指示されました。
 - 骨軟部組織のドレナージ (現在は創傷処理として、算定している)

- 副腎静脈サンプリング(SAVSを含む)

(問7) 診療報酬改定の際に現在の点数が不当に低いので改定してほしい手技があれば記載してください。

- 2票獲得

- 血管塞栓術(止血術およびその他のもの)
- 肝嚢胞硬化療法
- BRTO

- 1票のみ

- 肝マイクロ波凝固療法 , ポート抜去術 , UAE , 交感神経ブロックなどのブロック手技 (CT下) , CVポート留置 , ドレナージチューブ交換 , 動脈造影カテーテル法 ,
- 透析シャント用の上肢AVFを逆行性造影にて狭窄評価した場合、手技を行わないと算定できる点数がない。

(問8) 償還価格の見直しをしてほしいデバイスがあれば記載してください。

- 21票獲得

- 造影カテーテル

- 3票獲得

- ゴアドライシールシース
- 各種穿刺針

- 2票獲得

- プッシュャブルコイル
- 離脱式金属コイル
- デタッチャブルコイルの切断用デバイス

(問8) 償還価格の見直しをしてほしいデバイスがあれば記載してください。

• 1票のみ

- シースイントロデューサー
- マイクロカテーテル全般
- マーカー付きピッグテールカテーテル
- 胆道ドレナージキットの償還再認可と腹腔内膿瘍などへの適応拡大
- CVポート
- 脳血栓吸引カテーテル3MAX (ペナンプラ社)
- ガイディングカテーテル高度屈曲対応型
- Drainaway
- ドレナージ用カテーテル(uresilなど)
- 凍結療法における凍結プローブ

(問8) 償還価格の見直しをしてほしいデバイスがあれば記載してください。

• 自由意見

- 逆ざやと呼ばれる、償還よりも納入価格が高くなる商品が増えて、困っています。学会からなんらかの働きかけがほしいです。逆ざやは大学病院でさえ使用できなくなる現状です。これをほかっておくと、日本製の医療機器は消滅します。
- すべてのIVRデバイスを手技料に含めないように改訂して欲しいです
- 親カテ：このままでは国内のカテーテルメーカーがすべて撤退しそう。
- 離脱式コイル：1手技に10本のしばりをやめてほしい
- CVポート：（特定保険医療材料にして欲しい）
- マーカーつきピッグテールカテーテル：ゴールドマーカーがあり逆ざや、新分類を希望

考察

- 動脈塞栓術に対するデバイスについては新規導入，適応拡大，増点などいずれもニーズが高い
- 凍結療法に関しては点数や針の償還に特に要望が強い
- CTガイド下手技における点数に関しては全体的に増点等の希望が大きい
- 親カテーテルの値段に対する危機感は学会全体で高い